

# 令和5年度 第1回 ネットゼロフォーラムしが

～多様な主体参画で目指す「CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会」の実現～



しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ  
ムーブメント

令和5年7月18日(火)

# 令和5年度 第1回 ネットゼロフォーラムしが

令和5年7月18日(火) 13:00~17:00

1. 開会挨拶 (滋賀県副知事 江島 宏治)
2. 基調講演「ネットゼロの実現に向けた企業の役割と期待」  
(東レ株式会社 常任理事 経営企画室  
サステナビリティイノベーション戦略G 野中 利幸 氏)
3. 情報提供「ネットゼロに向けた取組、分科会開催案内など」  
(滋賀県 総合企画部CO<sub>2</sub>ネットゼロ推進課 松田 和浩)
4. ワークショップ「ネットゼロに向けた更なる取組について  
意見交換」(進行: 有限会社とーく 堤 幸一)
5. 名刺交換会



# 開会挨拶

滋賀県副知事

江島 宏治



## 基調講演

# ネットゼロの実現に向けた 企業の役割と期待

東レ株式会社 常任理事 経営企画室  
サステナビリティイノベーション戦略G

野中 利幸 氏



## 滋賀県からの情報提供

滋賀県でのネットゼロに向けた取組について  
分科会開催案内と参加呼びかけ

滋賀県 総合企画部

CO2ネットゼロ推進課 松田 和浩



# ワークショップ

ネットゼロに向けた更なる取組について  
意見交換

有限会社とーく 代表取締役  
堤 幸一



## ワークショップの進め方

1. ワークショップの趣旨・ねらい
2. テーブルごとに自己紹介
3. ディスカッション／回答方法／結果の共有
  - 質問1:基調講演で印象に残ったこと
  - 昨年度ワークショップ「考える連携」
  - 質問2:「再エネ」の効果的・効率的な導入
  - 質問3:消費者の行動変容

～企業の脱炭素の「見える化」～

4. 分科会の開催概要と参加呼びかけ



## ワークショップの趣旨・ねらい

- 多様な主体参画のイメージ共有
- 具体的な取組に向けた関心づくり
- 分科会の発足と参加呼びかけ





## 【基調講演で印象に残ったこと】

質問1：基調講演で印象に残った

キーワードやフレーズをお教えてください

(自由記述)



## 回答操作 [質問1]

1. 下記QRより、専用サイトにアクセス
2. 所属名と氏名を記入
3. 対象設問に回答を記入
4. 回答記入後「送信」ボタンを押す

<https://netzeroshiga.jp.org/>



上: パソコンを使用の方

左: タブレット・スマホを使用の方



## 【昨年度第2回ワークショップ ふりかえり】

### 第2回「ネットゼロフォーラムしが」

#### 具体的に広がる「事業連携」の枠組み

- ① 事業者間の連携
  - ・ 技術連携、金融商品支援 等
- ② 地域における連携
  - ・ 熱エネルギー交換、発電設備シェアリング等
- ③ 市民や消費者との連携
  - ・ CO<sub>2</sub>削減型商品開発、ラベル表示、購買促進等
- ④ その他
  - ・ 海外との連携 など



## 【昨年度第2回ワークショップ ふりかえり】

### 第2回「ネットゼロフォーラムしが」

質問:ご自身の会社や団体等において、CO2削減に向けて、今後、どのようなお立場やテーマでの「連携」が考えられるでしょうか

- ・複数回答可
- ・箇条書きで記入、複数の場合は改行ください。

 入力後・送信ください(社名記入あり)



しがCO2ネットゼロ  
ムーブメント



しがCO2ネットゼロ  
ムーブメント

## 【昨年度第2回ワークショップ ふりかえり】

### “考える連携” 回答



- OCFPによるデータ流通の実現。
- 休日の太陽光発電の活用。
- 中古薬剤の売買。
- 各企業の脱炭素に取り組む部署の担当者が集まり、課題、悩み、具体策の情報を相互に提供する。
- 太陽光発電への設置場所提供。
- 当社製品を通して再生可能エネルギー分野企業との連携。
- ゲームを使って関係の質(産官学公民)の連携。
- 地域事業者、行政、専門家との橋渡し役。
- 商品の提案、省エネ製品の製造など。
- 省エネ商材の紹介と提供補助金支援。
- 金融機関との情報共有。企業との情報共有。
- 省エネ診断、CO2排出量診断の受診。農業法人事業での何らかの連携
- 当社の木質舗装を工場などに舗装し、環境に優しい工場にしてもらう。
- バイオディーゼル燃料を使用する。蒸気ドレーンの地域共有。発電の売却。
- 省エネ診断の受診。水素エネルギーを生み出す会社、貯める会社、送る会社、記録する会社それを支援する金融がひとつになると面白い！当グループではそれぞれの技術を持ち寄ったり現在研究中のものを出し合うとひとつのプロジェクトが出来上がりそうです。

## 【昨年度第2回ワークショップ ふりかえり】

### “考える連携” 回答



- サプライチェーンを通じて省エネ情報を共有。クレジットを活用した中小企業と大企業の排出権の売り買い。太陽光を置けるけどエネルギー使用量の少ない施設、置けないけどエネルギーが必要な施設間の受給連携。エネルギーのストレージ機能の共有や共同投資、共同利用。CO2排出量削減に関する事業を行っている企業からの業界団体に向けての提案（効果検証連携）。エネルギー管理員として省エネを基本としたCO2削減対策。
- 製造ロス（廃棄物）の使用。環境に優しいものの使用。社会課題の解決すること。
- カーボンニュートラルは技術革新によるブレークスルーが必須であるため、行政の立場で、産官学連携による脱炭素施策を推進する。
- 滋賀県内に、当社で実証試験中のバイオリファイナリー施設（ごみを蒸し焼きにし、一酸化炭素を出して、菌に食べさせ、エタノールを作る）を設置し、近年行き場を失いつつある廃プラなど処理困難物を投入し、エタノールを樹脂などにし、県内利用する。
- スマートエネルギーの導入。大規模工場から小規模工場へ供給。
- 弊社は素材メーカーであり、常にものづくりの考え方は利害関係者との連携で成り立っている。廃棄物の運搬や処理の分野でのEV関連企業や自治体との連携。
- 再エネの継続可能なシステムの構築の情報収集。他社へのCO2削減への貢献は製品の軽量化による貢献が可能です。また、当社としては、電力が自給自足できないのでオフサイトによる太陽光発電による電気の供給が今後不可欠です。 ※他多数

## 【具体的なテーマ抽出】

### 分科会 A

再エネの  
効率的・効果的な  
導入

### 分科会 B

消費者の行動変容

企業の脱炭素の  
「見える化」



2つのテーマの分科会を開催へ



# 令和5年度 第1回「ネットゼロフォーラムしが」

## 【分科会A 再エネの効率的・効果的な導入】

### 2. 具体的な再エネ活用手法

#### (1) 敷地内での太陽光発電の導入

企業が所有（借用含む）する敷地内で太陽光発電を設置し、同一敷地内の需要場所に電力を調達する手法です。

具体的な調達手法

- ・手法①：建物屋根への導入（P.15～P.17）  
（購入方式）
- ・手法②：建物屋根への導入（P.18～P.20）  
（リース方式）
- ・手法③：建物屋根への導入（P.21～P.23）  
（オンサイトPPA方式）



電力の需要家

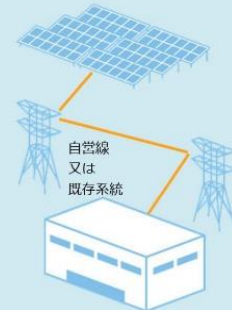
敷地内に十分なスペースがある！  
電気代高騰のリスクを抑えたい！

#### (2) 敷地外での太陽光発電の導入

企業が再エネ電力を調達したい需要場所の敷地外にて太陽光発電を設置し、そこから送電することで電力を調達する手法です。

具体的な調達手法

- ・手法④：自営線方式（P.29～P.30）  
（主に自己保有）
- ・手法⑤：自己託送方式（P.31～P.32）  
（自己保有又はオフサイトPPA方式）
- ・手法⑥：間接型オフサイトコーポレートPPA  
（自己保有又はオフサイトPPA方式）  
（P.33～P.36）



電力の需要家

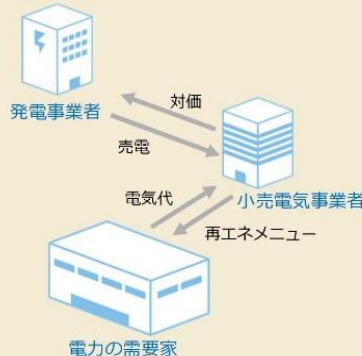
敷地内に十分なスペースがない！  
電気代高騰のリスクを抑えたい！

#### (3) 再エネ電力メニューへの切り替え

現在の電力契約を、小売電気事業者が提供する「再エネ電力メニュー」に切り替える手法です。

具体的な調達手法

- ・手法⑦：小売電気事業者の再エネ電力メニューへの切り替え（P.37）



簡単な方法で再エネ電力を調達したい！  
できるだけ短期で再エネを取り入れたい！

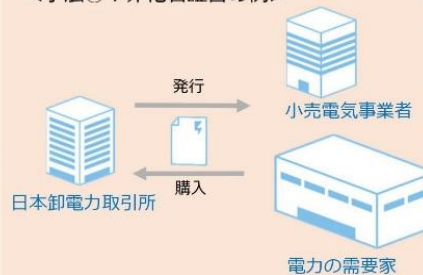
#### (4) 再エネ電力証書の購入

電力と別に再エネ由来の環境価値だけを証書として購入する手法です。

具体的な調達手法

- ・手法⑧：再エネ電力J-クレジット  
（P.38～P.39）
- ・手法⑨：グリーン電力証書（P.38、P.40）
- ・手法⑩：非化石証書（P.41）

<手法⑩：非化石証書の例>



今の電力の契約を変えたくない！  
できるだけ短期で再エネを取り入れたい！



【質問・回答・意見交換】

質問2-1:再エネの効率的・効果的な導入について  
どの程度の関心があるでしょうか。

- すでに導入している
- 導入に向けて調査・検討中である
- いまのところ導入予定はない
- その他(自由記述)



## 回答操作 [質問2-1]

1. 下記QRより、専用サイトに再びアクセス
2. 対象設問をクリック
3. 回答を記入して「送信」ボタンを押す

<https://netzeroshiga.jp.org/>



上: パソコンを使用の方

左: タブレット・スマホを使用の方



## 【質問・回答・意見交換】

質問2-2:導入について関心のあるテーマをお教えてください。(複数回答可)

- 敷地内での太陽光発電の導入  
(建物屋根への導入、オンサイトPPAなど)
- 敷地外での太陽光発電の導入  
(自己保有、オフサイトPPAなど)
- 再エネ電力メニューへの切り替え
- 再エネ電力証書の購入  
(J-クレジット、グリーン電力証書、非化石証書)
- その他(自由記述)



## 回答操作 [質問2-2]

1. 下記QRより、専用サイトに再びアクセス
2. 対象設問をクリック
3. 回答を記入して「送信」ボタンを押す

<https://netzeroshiga.jp.org/>



上: パソコンを使用の方

左: タブレット・スマホを使用の方



## 【分科会B 消費者の行動変容】



(1)CO<sub>2</sub>ネットゼロの「見える化」

(3)「見える化」に向けた課題

(2)CO<sub>2</sub>の「見える化」に必要なこと

(4)具体的な手法や事例を導入



- 関係省庁が提示する「手法」を知る
- 民間事業者の実践事例から学ぶ

先進事例から学んで  
検討を進める！

## 【質問・回答・意見交換】

質問3:企業の脱炭素の「見える化」について

取組みたいテーマをお教えてください。(複数回答可)

- 「見える化」のための計測・データ共有・分析等
- 「見える化」を通じた改善手法
- 取引先に向けた「見える化」手法(GHG算定等)
- 消費者に向けた「見える化」手法  
(カーボンフットプリントなどのラベル展開)
- その他(自由記述)



## 回答操作 [質問3]

1. 下記QRより、専用サイトに再びアクセス
2. 対象設問をクリック
3. 回答を記入して「送信」ボタンを押す

<https://netzeroshiga.jp.org/>



上: パソコンを使用の方

左: タブレット・スマホを使用の方



## 【2つのテーマ分科会】

### 分科会 A

『再エネの効率的・効果的な導入』

### 分科会 B

『消費者の行動変容～脱炭素の見える化～』

- 実施：年度内4回開催、20名程度参加(事前申込)
  - ・R5年8月～R6年1月に各4回ずつ開催！
- 構成：話題提供、意見交換、提案検討など



## 【2つのテーマ分科会】

### 分科会A

第1回「(仮) 多様な再エネ導入手法と特徴」

日時：8月29日(火) 13時半から16時半(予定)

会場：滋賀県危機管理センター 会議室

### 分科会B

第1回「(仮)見える化の先進的取組」

日時：8月31日(木) 13時半から16時半(予定)

会場：滋賀県危機管理センター 会議室

**ぜひご参加ください！**

※追って募集を呼びかけいたします。

【質問・回答・意見交換】

質問4：分科会への期待をお聞かせください

(複数回答可)

- 関心あるテーマについての情報獲得・学習
- 参加者によるネットワーク
- 先進事例の見学
- 具体行動に向けたアドバイス・支援
- 連携テーマの事業化
- その他(自由記述)



## 回答操作 [質問4]

1. 下記QRより、専用サイトに再びアクセス
2. 対象設問をクリック
3. 回答を記入して「送信」ボタンを押す

<https://netzeroshiga.jp.org/>



上: パソコンを使用の方

左: タブレット・スマホを使用の方



ワークショップ終了

ありがとうございました

